



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.6.19 No. 3612

初夏をいろいろ 7.5地引綱大会 組合員・家族 集る！ みんなで来よう！

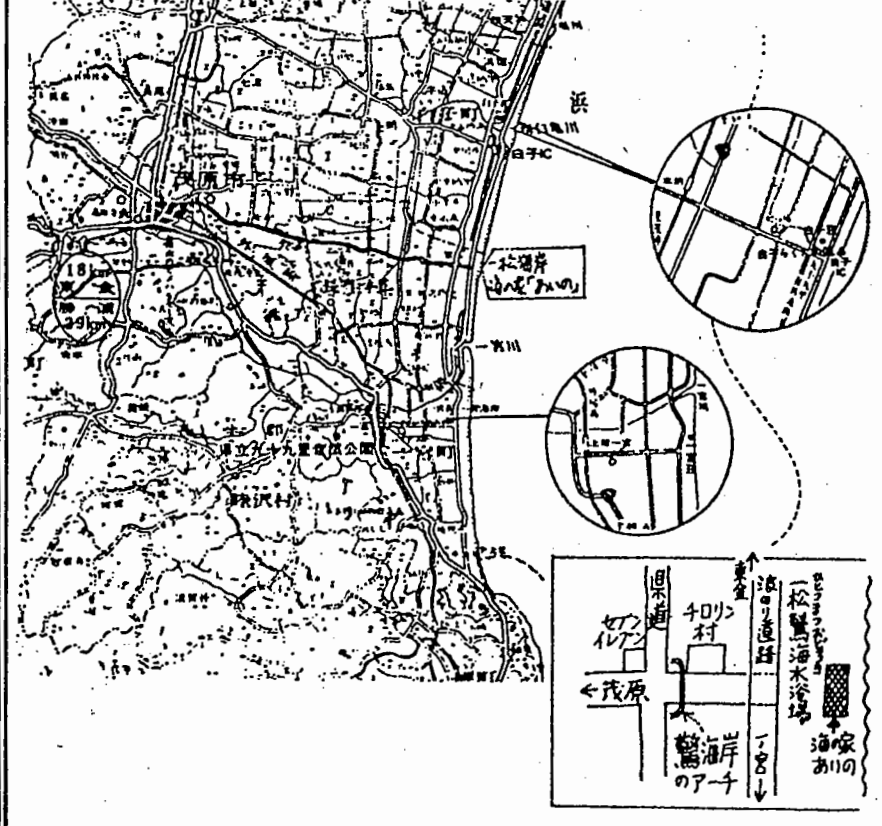


心に残る闘いをつくる動労千葉

サークル協第五回団結地引綱大会

日時 1992年7月5日(日) 9~15時
 場所 九十九里浜・一松海岸
 集合場所 一松海岸・海の家「あいの」9時集合
 行き方 外房線茂原駅より、「白子車庫」行きバスで約15分、「一松海岸」下車(駐車場有り)

バス発車時間…「茂原駅東口発」8時10分、9時11分、



初夏をいろいろ動労千葉サークル協の一大イベント―組合員・家族の親睦と友好の場、地引綱大会が今年も九十九里・一松海岸、海の家「あいの」で催されます。

「JR体制」の日常的攻撃に対し、職場において雄々しく闘いを築いてきた組合員にとって、又、それを家庭から支えてきた家族にとって、憩いと歓談、活力のわくサークルとして今年で五回目を迎えることができました。

これもひとえに、全員が一人一人を信頼し、サークル活動を大切にする心と心が育ててきたからと言えます。

今職場では、「JR鉄道部門五万人体制」の大合理化攻撃があり、一方では会社丸がかえによる「サークル活動」が幅をきかせ、それ

に参加することが「評価」されるなどということが半ば強制的に行われていきます。

動労千葉のサークルは、誰の力も借りず、自らの発想と自らの意識によって、「手づくりで本物」をキヤッチフレーズに、全支部から選出された新生サークル協役員が吟味に吟味をかさねた自信作です。

地引綱大会は、とりたての九十九里の新鮮な魚に舌づつみをうちつつ、杯をかさね語りあうなど、組合員・家族みんなが楽しめる一日です。

七月五日は、九十九里・一松海岸に家族揃って集まりましょう！楽しくなければサークルじゃない！

営業から反転攻勢の闘いへ！

班長氏△云議開催「塩づけ」粉砕！
七・一八 定定期委員△云に

六月一八日一三時より、営業分科会は本部役員含め一五名参加のもと班長会議を開催し、営業分科会第二回定期委員会に向けての意思結集を行った。

強制配転後五〜六年もたっている配転者自身が、営業の場での闘いをどう構築させていくのか？どう闘い抜いていくのか？そして、「塩づけ」攻撃を粉砕して、原職復帰を

六月一八日一三時より、
勝ちとっていくのか？
動労千葉の組合員として、あらゆる場所が闘いの場であることが、この班長会議の中で確認された。

営業分科会組合員は、七月一八日に開催される第二回定期委員会に結集し、全員で闘う方針を決定しようではないか！
営業から反転攻勢の闘いへ起とう！